

科目名	憲法	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	熊谷 卓		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-01-A-1-110017		国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること		
授業の目的	<p>日本国憲法という、中学校で学んで以来、見たこともないという人もいるだろう。しかし、私たちが生活していく上で、国や地方公共団体とかかわることも多く、日本国憲法の出番となることも少なくはないはずである。この講義では、私たちの人生と日本国憲法がどのようにかかわっているのか、この点を中核にすえて具体的に検討していく。このような観点から、可能な限り具体的な事例を通じて日本国憲法の重要事項、とりわけ、「基本的人権の保障」に重点をおいて講義をすすめていく。なお、丁寧に、分かりやすい講義を心がけたい。</p> <p>(なお、本講義は、国際学部のディプロマポリシーたる、グローバルな課題に対する批判的な考察眼の滋養、問題の本質を看取できるような国際教養と研究手法の体得を、国際法学の学びから、目標とするものである。)</p>				
学修到達目標	憲法学に関する一般的知識・理論を習得することができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	1. オリエンテーション-憲法とは
第2回	2. 立憲主義
第3回	3. 国民主権

第4回	4. 平和主義
第5回	5. 人権総論
第6回	6. 人身の自由
第7回	7. 判例研究
第8回	8. 平等権
第9回	9. 判例研究
第10回	10. 民法規定の再婚禁止期間違憲性
第11回	11. 判例研究
第12回	12. 新しい人権
第13回	13. 信教の自由

第14回	14. 判例研究
第15回	15. 総括
第16回	16. 試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	各回のテーマ（アウトライン）について十分に予習のこと（2時間）
【復習】時間・内容	各回のテーマ（アウトライン）について十分に復習のこと（2時間）

成績評価	
評価基準・方法	主として試験による成績評価（試験90パーセント、講義内でのコメントペーパーを通じたレスポンス10パーセント）
フィードバック方法	コメントペーパーによる質疑応答（試験の講評を含め）を通じたフィードバック

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	六法全書。必ず持参すること。
受講上の留意点等	本科目の履修水準はB（発展的水準）である。このことを留意すること。
JABEE	